

委員会だより

職能対策委員会

平成27年9月関東・東北豪雨災害への茨城県薬剤師会の対応について

公益社団法人茨城県薬剤師会
災害対策本部

平成27年9月9日に日本に上陸した台風18号から変わった低気圧の影響による豪雨により、関東から東北地方にかけて大きな災害が発生した。本県においても、利根川の支流である西仁連川や宮戸川など多くの河川で越水や漏水、決壊が発生したほか、鬼怒川の大規模決壊により、常総市内の東西5km、南北22kmの広範囲に渡って浸水し、多大な被害をもたらした。激甚災害に指定された。

本会においては、今回の災害に際し、四師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会）の災害時協定にもとづき、避難住民への医療提供を行ったほか、常総市の依頼による消毒薬の配布・指導、地域医療を早期に復旧させるための被災薬局や医療機関への支援などを行ったので、報告する。

1. 災害対策本部の立ち上げと情報収集

9月10日の12時50分に鬼怒川が決壊し、災害が広がることが予想されたため、会長と協議して同日13時に茨城県薬剤師会事務局内に災害対策本部を立ち上げ、9月24日の11時まで活動を行った。

また、地域薬剤師会の会長へ連絡を取り各地の被災状況を調査したほか、FAX一斉同報及び電話により、被災地域の薬局と継続的に連絡を取り、情報の収集を図った。（当時の被災確認薬局数は、常総地区8軒、古河地区3軒であったが、後に浸水区域が広がったため、常総地区は13軒に増加）

さらに、県薬務課や県医師会と連携を図り、避難所や被災医療機関に関する情報の収集に努めたほか、関係機関のウェブサイトからの情報も活用した。

2. 薬剤師ボランティアの組織化

今回の災害は、地域が限定していることから、水が引いた後に迅速に被災薬局が復旧できるよう、泥かきや片付けを支援する清掃ボランティア（薬局のお掃除手伝い隊）を募集することとし、9月10日15時にホームページに掲載した。

しかし、9月10日17時に県薬務課から災害協定に基づく薬剤師の派遣要請があったため、清掃ボランティアの募集を中止し、薬剤師ボランティアの募集に切り替え、9月18日まで継続してホームページで募集を行ったほか、新潟県中越地震や東日本大震災の際に薬剤師ボランティアとして活動した方々へ連絡を取り、協力を要請した。

その結果、薬剤師のほか、医療事務、製薬メーカーや卸の社員など、県内外から212名（延べ人数361名）の方から応募があり、被災薬局の復旧支援、避難住民に対応している地域薬局・医療機関の支援、医療チームへの参加、避難所の衛生管理、被災住民への消毒指導など、現地の需要に応じて調整し、延131名の派遣を行った。

茨城県の被害状況
(平成27年10月19日茨城県発表)

人的被害	死者	3名
	重症	3名
住家被害 (除集合住宅)	全壊	50件
	大規模半壊	1,109件
	半壊	2,916件
	床上浸水*	110件
	床下浸水*	2,970件
避難者	ピーク時10,390名 避難所35市町村299カ所	

*全壊・大規模半壊・半壊に至ったものは除く

薬剤師ボランティアの派遣状況

活動日時	登録者	医療チームへの参加	被災薬局・病院の支援	避難所での被災者支援	消毒薬配布	活動者合計
9月11日(金)	5					0
9月12日(土)	40	9	8			17
9月13日(日)	67	14	9	5		28
9月14日(月)	5	4	1			5
9月15日(火)	16	6	4			10
9月16日(水)	20	7	3			10
9月17日(木)	19		8	1		9
9月18日(金)	7		3			3
9月19日(土)	13		5			5
9月20日(日)	56		3		20	23
9月21日(月)	51		3		15	18
9月22日(火)	36		2			2
9月23日(水)	26		1			1
	361	40	50	6	35	131

3. 医療チームへの参加

9月10日17時に、県医師会から、四師会の災害協定にもとづき、JMAT茨城を結成するための会議の招集があり、11日19時に県医師会会議室で協議が行われた。

その結果、翌12日から医療チームを5チーム結成し、被災地から15kmほど離れた筑波大学附属病院けやきプラザを現地の拠点に、常総市及びつくばみらい市の避難所を巡回診療することになり、急遽、災害時活動を経験している会員へ参加を要請し、16日までボランティア薬剤師を派遣した。

その間、薬剤師は、避難住民の服用薬の聞き取りや、持参薬による調剤及び服薬指導、災害時処方せんの送信などに関する業務に従事した。

なお、JMAT茨城の拠点を、14日からはつくば保健所に移転し、17日まで活動が継続された。(17日は、病院毎に組織した医療チームが結成され、病院薬剤師が同行したため、ボランティアの派遣は行わなかった。)

	巡回避難所数	診療患者数	投薬患者数	
				処方せん発行数
9月12日(土)	17	記録なし	115	69
9月13日(日)	16	83	56	29
9月14日(月)	22	103	56	30
9月15日(火)	22	103	60	20
9月16日(水)	17	33	29	3
9月17日(木)	17	27	21	6
計	111	349	337	157

4. 医薬品の供給と災害時処方せん調剤

JMAT茨城が結成されることになったためJMAT茨城が持参する医薬品の品目及び数量を、9月11日に決定し、県薬務課に対して、県と茨城県医薬品卸業組合との協定にもとづく流通備蓄医薬品の供出を依頼し、逐次、県薬務課を通してJMAT茨城で必要とされる医薬品及び衛生材料を発注した。

ただし、被災地域が限局的であり周辺の薬局も機能していたことと、すべての疾病に対応する医薬品を供給することが不可能なことから、JMAT茨城で直接投薬する医薬品は、急性の疾病や外傷などに対応する最低限のものとし、持病などの慢性的な疾病に対しては、災害時処方せんを発行することにより対応することとした。

災害時処方せんを調剤する薬局については、12～13日が土・日であったことから、筑波大学附属病院の近隣の薬局1カ所に協力を仰ぎ、JMAT茨城で発行した処方せんを写真に撮って送信してもらい、協力薬局で調剤した薬剤を、ボランティアにより避難所へ搬送した。

また、14日以降は被災地内の薬局も復旧してきたため、患者に災害時処方せんを調剤可能な薬局のリストを交付し、近隣の薬局で調剤してもらうよう誘導することとした。併せて、調剤が可能な薬局の情報をホームページに掲載し、逐次更新するとともに、NHK水戸放送局及びIBS茨城放送に依頼して住民への広報を行った。

別途活動していた日赤医療チームにも災害時処方せんの活用を要請していたが、JMAT茨城の活動が終了したことから、17日で災害時処方せんの受付を終了した。

本会が活動した常総地域においては、避難所等でのOTCの供給は行わなかったが、つくば薬剤師会においては、つくば市からの依頼により、市内避難所において、市の用意したOTCの配布と健康相談を実施した。

JMAT茨城携行薬一覧

内用薬

カロナール錠200mg, ロキソニン錠, リスミー錠1mg, デパス錠1mg, アムロジピン錠2.5mg, アダラートカプセル5mg, ラシックス錠10mg, アマリール錠1mg, ペリアクチン錠4mg, ムコダイン錠250mg, ガスターD錠10mg, プリンペラン錠5mg, セルベックス細粒10%, マグミット錠330mg, ビオフェルミン錠, プルゼニド12mg, プレドニン錠5mg, フロモックス錠100mg, フロモックス小児用細粒10%, PL顆粒

外用薬

ニフラン点眼液, タリビット点眼液, フルメトロン点眼, ゲンタシン軟膏0.1%, キンダベート軟膏5g, ロキソニンパップ

その他

滅菌ガーゼ, サージカルテープ, 自己血糖測定器セット, OS-1, 手指消毒液

5. 被災薬局及び医療機関の復旧支援

今回の災害では、洪水により半壊もしくは一部損壊などの被害を被った薬局等もあったが、浸水や汚泥の流入による、医薬品や商品、調剤機器などの流出・棄損が主であった。そのため、早期から泥出しや清掃のためのボランティアを募集し、5軒の薬局と1軒の医療機関からの要請により派遣を行った。

また、自ら被災しながらも、被災住民のために調剤業務を継続していた薬局や医療機関に、薬剤師を派遣して支援を行った。

6. 消毒薬の配布と指導

常総市から県に対し消毒薬の配布に携わる薬剤師の派遣要請があったことから、9月17日に県薬務課から本会に依頼があった。本会では、常総薬剤師会へ活動できる薬剤師の確保を要請するとともに、不足する人員については、薬剤師ボランティア登録者へ依頼を行った。

20日、21日の2日間、延べ35名の薬剤師により、常総市内の24カ所で消毒薬の配布と消毒方法の指導を行い、1621本の逆性石鹼（塩化ベンザルコニウム）を配布した。

また、9月15日に、茨城放送の災害関連特番の取材に応じ、水害後の消毒方法について住民へ情報を提供した。

実施日	配布場所	配布本数
9月20日	13ヶ所（天満町公民館、山田町公民館、本町公民館（本町会館）、白畑公民館、宝町会館、中三坂集会所、きぬ医師会病院付属通所リハビリセンター、淵頭町公民館、橋本公民館、五箇公民館、森下町公民館、千代田団地集会所、常総市保健センター）	1226本
9月21日	11ヶ所（上石下公民館、玉文化センター（石下婦人の家）、新石下転作推進センター、若宮戸公民館、大房農村集落センター、山口公民館、横堤農村集落センター、南宿公民館、東野原田園都市センター、曲田公民館、石下中央公民館）	395本
合 計		1621本

7. その他

9月10日15時に、県薬務課から、避難所に避難している住民が持病の薬を持参し忘れて困っているとの連絡が入ったため、かかりつけの医療機関に処方せんの発行を依頼することし、併せて、調剤可能な避難所近隣の薬局に調剤を依頼することとした。

避難所の保健師にかかりつけの医療機関を患者から聴取してもらい、県薬務課から処方医へ、本会で紹介する薬局へ処方せんをFAX送信することを依頼、調剤した薬局が避難所へ届けることになり、21件の調剤を行った。

そのほか、つくば薬剤師会においては、9月13日から26日までの間、つくば市からの要請により、つくば市医師会と連携して、つくば市及びつくばみらい市の6カ所の避難所において、健康相談、衛生管理、含嗽剤等のOTC配布及び指導などを、延べ121名の会員により実施した。

活 動 経 過

年月日（曜日）	活動内容等
平成27年9月10日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・常総市が自衛隊派遣を要請（8：30） ・茨城県が災害対策本部を設置（10：00） ・鬼怒川が決壊（12：50） ・茨城県薬剤師会災害対策本部を設置（13：00） ・地域薬剤師会会長から被災状況を聴取 ・常総市内の薬局の被災状況調査 ・清掃ボランティア募集（ホームページ） ・県薬務課から避難患者への調剤受入薬局の斡旋要請（15：00） ・7市町村が災害救助法の適用地区に指定（古河市、結城市、下妻市、常

	<p>総市, 筑西市, 八千代町, 境町) (17:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4市町村が災害救助法の適用地区に追加指定 (守谷市, 坂東市, つくばみらい市) (18:00) ・ 県から薬剤師の出動要請 (17:00) ・ 県医師会からJMAT茨城会議の招集 (17:00) ・ 薬剤師ボランティア募集 (ホームページ)
平成27年9月11日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所設置状況等を調査 ・ 避難所近隣薬局へ避難患者の調剤受入を要請 ・ 避難者のかかりつけ医療機関から発行された処方せんを避難所近隣の対応薬局へ送信 ・ 四師会打合せ会でJMAT茨城の派遣を決定 (19:00) ・ JMAT茨城で使用する医薬品等を県薬務課を通して茨城県医薬品卸業組合へ発注 ・ JMAT茨城の参加要員を手配 ・ 大学前薬局へ後方支援調剤の依頼
平成27年9月12日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・ JMAT茨城現地対策本部の設置 (筑波大学附属病院けやきプラザ) (毎日8:00と17:00に全体ミーティング, 14:00に四師会代表ミーティングを予定) ・ 医療チームを5チーム編成 (医師, 歯科医師, 薬剤師, 看護師) ・ 常総市及びつくばみらい市の避難所で巡回診療 (17カ所) ・ 後方支援薬局 (大学前薬局) で災害時処方せんの調剤 ・ 後方支援薬局から避難所への調剤薬搬送 ・ 被災薬局へボランティア派遣 ・ 常総市内の調剤可能薬局情報の公開 (ホームページ)
平成27年9月13日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常総市及びつくばみらい市の避難所で巡回診療 (5チーム, 16カ所, 83名診療) ・ 後方支援薬局 (大学前薬局) で災害時処方せんの調剤 ・ 後方支援薬局から避難所への調剤薬搬送 ・ 被災薬局へボランティア派遣 ・ つくば薬剤師会が行っているつくば市内避難所での活動に, 薬剤師ボランティアを派遣 ・ JMAT茨城現地対策本部を, つくば保健所に移転 (18:00)
平成27年9月14日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常総市及びつくばみらい市の避難所で巡回診療 (5チーム, 22カ所, 103名診療) ・ 医療チームが災害時処方せんを患者へ発行 ・ 被災薬局へボランティア派遣 ・ JMAT茨城と常総市との間で医療対応について協議 (12:30)
平成27年9月15日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常総市及びつくばみらい市の避難所で巡回診療 (5チーム, 22カ所, 103名診療) ・ 医療チームが災害時処方せんを患者へ発行 ・ 被災薬局へボランティア派遣 ・ IBSの取材で消毒方法を広報 (20:15)
平成27年9月16日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常総市及びつくばみらい市の避難所で巡回診療 (5チーム, 17カ所, 33名診療) ・ 医療チームが災害時処方せんを患者へ発行

	<ul style="list-style-type: none"> ・被災薬局へボランティア派遣 ・つくば薬剤師会から、つくば市内の避難所活動への応援要請 ・JMAT茨城の活動を17日に4チーム派遣して終了することを決定（17日は病院毎に編成し、病院薬剤師が同行するため、薬剤師会からの派遣は不要）（17：00） ・常総薬剤師会役員と今後の対応を協議（19：30）
平成27年9月17日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災薬局へボランティアを派遣 ・つくば薬剤師会の避難所活動にボランティアを派遣 ・県薬務課から常総市の消毒薬配布に係る薬剤師の派遣要請 ・常総市と消毒薬配布方法について協議（15：00） ・現地災害対策本部から医薬品を撤収 ・現地災害対策本部を解散（17：00）
平成27年9月18日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災薬局へボランティアを派遣 ・NHKとIBSへ連休中の調剤可能薬局情報の広報を依頼
平成27年9月19日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災薬局及び医療機関へボランティアを派遣
平成27年9月20日（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災薬局へボランティアを派遣 ・常総市内で消毒薬配布・指導（13カ所，1226本配布）
平成27年9月21日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災薬局及び医療機関へボランティアを派遣 ・常総市内で消毒薬配布・指導（11カ所，395本配布）
平成27年9月22日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災医療機関へボランティアを派遣
平成27年9月23日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災医療機関へボランティアを派遣
平成27年9月24日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県薬剤師会災害対策本部を閉鎖（11：00）